

一般社団法人 全国知的障害児者生活サポート協会
 2015年度事業報告
 (2015年4月1日～2016年3月31日)

【概 括】

I 組織

2015年度加入者目標を106,000人とし、加入者総数は108,881人(対前年度比・約12%増)となり目標を達成、設立当初からの目標であった加入者10万人を超えることができた。これは、2014年度団体加入した4サポート協会(岐阜県、京都、徳島県、高知県)が2015年度に個人加入者が明確になり、その合計が5,843人であったところが大きい。

2015年度の社員(団体)数は40社員(団体)から、なら(奈良県)、山口県がサポート協会を設立、12月1日付で当会に加入したため、42社員(団体)となった。昨年に続き、新規の社員(団体)増はサポート協会の名称及び事業が浸透してきているということであり、近隣のサポート協会等の支援の結果である。

また、2016年1月に和歌山県に全国サポート協会についての情報提供を行った。和歌山県は2016年度に加入の見込みである。

グラフ1 加入者数及び加入社員(団体)数の推移

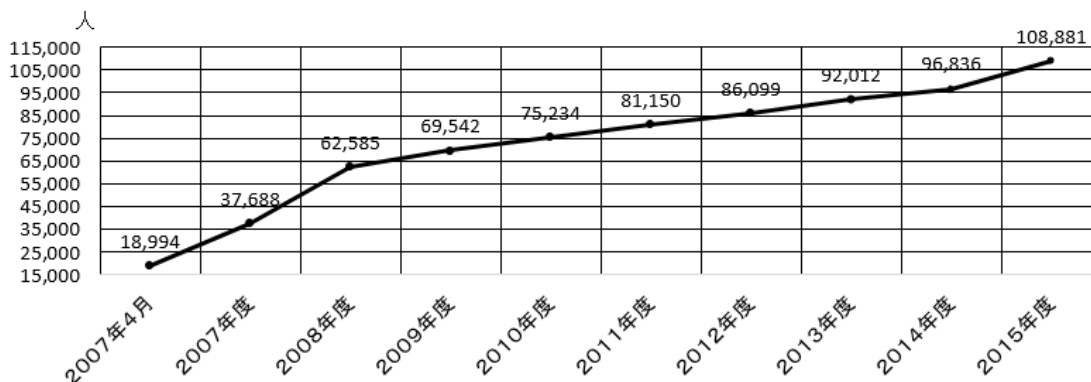


表1 加入社員(団体)数の推移

年度	加入社員(団体)数
2007年度	26
2008年度	32
2009年度	33
2010年度	36
2011年度	36
2012年度	36
2013年度	36
2014年度	40
2015年度	42

表2 ブロック別加入者数の推移

ブロック名	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度
北海道ブロック	369	1,296	1,567	1,714	1,876	2,513	3,118	3,815	4,276
東北ブロック	3,938	5,419	6,609	8,252	8,947	9,563	10,131	10,568	11,174
関東甲信越ブロック	20,402	32,440	33,568	34,868	36,103	37,284	38,353	39,633	41,162
東海・北陸ブロック	8,277	9,414	10,443	11,003	11,379	12,048	13,041	13,850	16,523
近畿・中国・四国ブロック	0	5,917	7,311	8,426	11,079	11,864	13,067	13,940	19,299
九州ブロック	4,702	8,099	10,044	10,971	11,766	12,827	14,302	15,030	16,447

II 事業

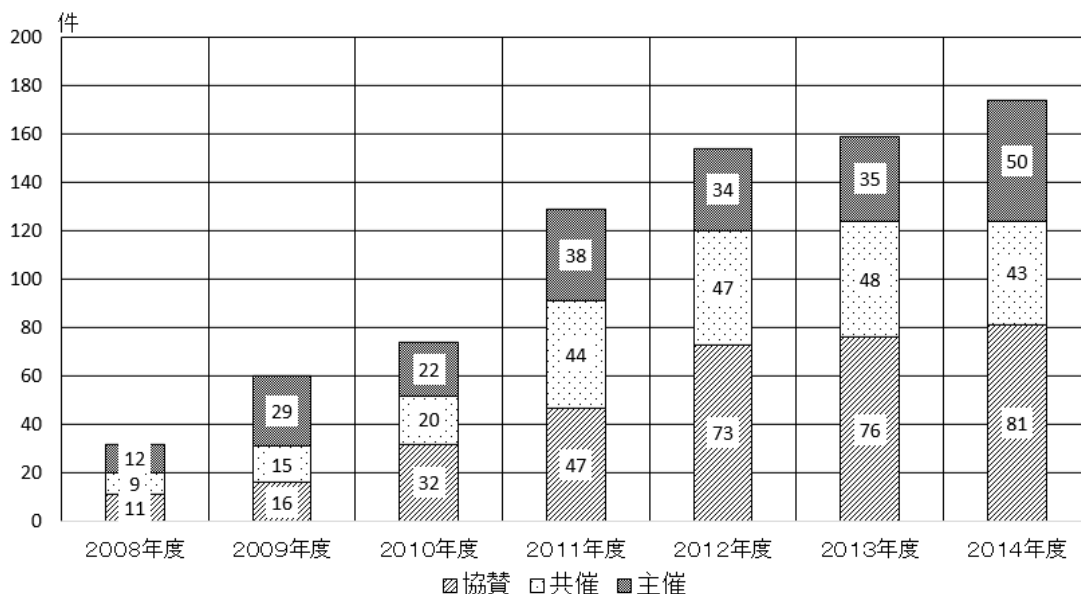
1 サポート協会における事業の実施

サポート協会の事業報告及び決算書より、事業の実施数は（159事業→174事業 8%増）、1サポート協会の事業費にける平均費用（110万円→117万円 6%増）共に増えている。

グラフ2の事業実施形態のとおり、近隣のサポート協会の事業を参考に主催事業を実施するサポート協会（35件→50件 30%増）が増えてきており、特に芸術、スポーツ等本人参加型の事業を実施するサポート協会が増えてきた。主催事業での実施が増えていることは、サポート協会がより事業の重要性を理解しているということであり、未加入者への加入アプローチにも繋がっていくものと思われる。

また、2011年度から2014年度まで事業実施数が伸びているが、加入しているサポート協会数は微増である。この事業実施数増は、各サポート協会の定款及び規約に基づく事業が増えており、事業内容が一層充実していることがうかがえる。

グラフ2 事業実施形態



2 ブロック会議

(1) 協議事項

- ア 6ブロックで開催し、2014年度末に実施した保護者、事業者、企業向けのアンケート結果を基に会議実施前に選択型のアンケートを実施した。この結果に基づいて協議を行い、関係機関へ要望をまとめることができた。
- イ 近畿・中国・四国ブロック会議では2015年度から新たに京都、徳島、高知の3サポート協会が加入・出席、及び未加入団体がオブザーバーとして出席（奈良県、広島県）したので、ブロック内の他のサポート協会から2014年度における成果のみられた事業を報告していただき、今後の事業の参考にしていただいた。新たに加入したサポート協会に事業の重要性を理解していただくことができ、大変好評であった。

(2) 研修会の実施

今後、各サポート協会が円滑な事務執行を行っていただくため、会議後、事務職員向けに研修会を実施した。

(3) その他

東海・北陸ブロック会議では、2015年度当初アールブリュット作品の募集を実施したところ、当該ブロックの3作品が入賞したため、入賞者の表彰式を行った。（愛知県2作品、富山県1作品）

3 啓発宣伝

(1) アールブリュット作品の募集

アールブリュット作品を募集し、86作品（14サポート協会）が集まった。入賞作品は総会で投票を行い、愛知県の2作品、富山県の1作品となった。全応募作品を当会ホームページの「お知らせ」に掲載した。入賞者には賞状及び副賞を授与した。

(2) 「2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けた障害者の文化芸術活動を推進するネットワーク」への参加

当会は、2015年7月に発足した「2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けた障害者の文化芸術活動を推進するネットワーク」の構成団体となった。障害者文化芸術活動を推進するための啓発活動、事業を推進していく。

(3) 7月1日付 会報誌「サポ協だより シンボルス～共生～」の発行
2015年度よりカラー化し見やすく改善した。また、最終ページにAIU、JICの協力のもと、2016年度「生活サポート総合補償制度」改定について掲載し、加入者にいち早く情報を提供することができた。

(4) 広告掲載

ア 集会

① 日本知的障害者福祉協会

「全国知的障害関係施設長等会議」(2015年6月29～30日)

「全国知的障害福祉関係職員研究大会」

(2015年10月14～16日)

② 全国手をつなぐ育成会連合会

「第2回全国大会」(2015年9月26～27日)

イ 冊子

① 日本知的障害者福祉協会「さぽーと」(年間)

② 全国手をつなぐ育成会連合会「手をつなぐ」(年間)

ウ 週刊福祉新聞 暑中見舞名刺広告・年賀名刺広告

(5) ホームページ

2012年度から「お知らせ」ページに国や他団体からの福祉関係の情報を掲載しており、いくつかのサポート協会から「助かっている」とのことであった。

4 十周年記念事業に関する準備

「十周年記念事業実行委員会」を発足、ブロック等を鑑み委員を8名選出し、2015年度は委員会を2回開催した。委員会では記念式典、研修会、記念誌の内容等について協議した。記念式典は2016年度定時社員総会と同日の5月24日に行い、当日記念誌を参加者に配布、研修会資料として使用することになった。

2016年度の記念行事に向けて、計画的に準備を進めることができた。

5 小規模サポート協会支援

小規模サポート協会へは、2015年8月末現在で加入者数500人以下のサポート協会に対し規定した金額の助成を行った。

2014年度は4サポート協会が支援対象であったが、2015年度は2サポート協会が対象となり、内1サポート協会は2015年10月

には500人を超えた。そのため、2016年3月末現在、加入者500人以下のサポート協会は1サポート協会のみとなった。

2016年度以降も支援する。

6 「会員管理システム」の利用（適正な加入者の情報管理）

「会員管理システム」を新たに青森県、札幌市が利用することとなった。

また、2016年度「生活サポート総合補償制度」改定に向けて仕様を一部変更し、セキュリティを強化するため半年に1度ログインパスワードを変更するシステムに改善した。

7 サポート協会の定款等の変更及び会計報告の改善

ブロック会議では、各サポート協会の会費について会費の内訳を明記するよう定款等の変更及び会計報告は「運営の部」と「保険料の部」別様に改善を依頼し、各サポート協会から理解が得られた。

8 「生活サポート総合補償制度」に係る改定

2016年度「生活サポート総合補償制度」改定準備を予定とおりに進めることができた。

定時社員総会時、AIU及びJIC協力のもと事務職員向けの研修会を実施、終了後にアンケートを行い疑問点や質問事項を収集した。ブロック会議に再度研修会を行い、総会研修会後のアンケート回答を資料として配布した。

【事業内容】

1 2015年度定時社員総会

日 時：2015年5月25日（月）12：30～14：30

場 所：品川区立総合区民会館 イベントホール

議案事項：2014年度事業報告及び決算報告、監査報告 他

2 理事会

	日時	場所	内容
第1回	2015年5月8日（金） 13:00～15:30	品川区立総合 区民会館 中会議室	・2014年度事業報告、決算報告、監査報告 ・顧問の選任 ・理事及び監事改選 他
臨時	2015年5月25日（月）	品川区立総合 区民会館 イベントホール	・代表理事（理事長）、副理事長選定
定款第 31条に 基づく	2015年12月1日（火）	電磁的記録	・社員（なら、山口県サポート協会） の入会審査
第2回	2016年3月4日（金） 13:00～16:00	品川区立総合 区民会館 中会議室	・2018年度「生活サポート総合補償 制度」改定について ・2015年度事業実施等の成果と課題 ・2016年度事業計画・予算（案） 他

3 三役会

	日時	内容
第1回	2015年4月8日（水） 13:00～16:00	・2014年度事業報告、決算報告、監査報告 ・2016年度「生活サポート総合補償制度」改定に関する 手続き及び2018年度改定に向けてのスケジュール 他
第2回	2015年7月8日（水） 13:00～16:00	・2015年度定時社員総会の評価、反省 ・ブロック会議協議事項等 他
第3回	2016年2月4日（木） 11:00～15:00	・2018年度「生活サポート総合補償制度」改定について ・2015年度事業等の評価・反省 ・2016年度定時社員総会及び十周年記念事業計画（案） ・2016年度事業計画・予算（案） 他

※ 開催場所は一般社団法人 全国知的障害児者生活サポート協会 事務所

4 委員会

第1回十周年記念事業実行委員会

日時：2015年7月7日（火） 13：30 ～ 16：45

内容：・副委員長・書記（各1名）の指名

・記念研修会及び十周年記念誌内容について

第2回十周年記念事業実行委員会

日時：2016年2月3日（水） 13：30 ～ 16：50

内容：・記念研修会及び記念式典について

・懇親会、記念誌について

※ 開催場所は両日とも一般社団法人 全国知的障害児者生活サポート協会
事務所

5 ブロック会議

・第5回北海道ブロック会議

2015年9月16日（水） 14：00～17：00

札幌市 道民活動センタービル

・第8回近畿・中国・四国ブロック会議

2015年10月9日（金） 13：30～16：30

鳥取県（主催県） ホテルメルパルク HIROSHIMA（開催地は広島県）

・第9回東北ブロック会議

2015年10月23日（金） 13：30～16：30

宮城県 ホテルモントレ仙台

・第9回東海・北陸ブロック会議

2015年11月12日（木） 13：30～16：30

福井県 ザ・グランユアーズフクイ

・第10回関東甲信越ブロック会議

2015年11月17日（火） 13：30～17：20

山梨県 フルーツパーク富士屋ホテル

・第9回九州ブロック会議

2015年12月15日（火） 14：00～17：30

宮崎県 ホテルスカイタワー

6 研修会（事務局員向け）

日時：2015年5月25日（月） 14：45～16：45

場所：品川区立総合区民会館 イベントホール

内容：2016年度「生活サポート総合補償制度」改定

講師：A I U損害保険株式会社、株式会社ジェイアイシー

一般社団法人 全国知的障害児者生活サポート協会

2015年度収支計算書 一運営の部一

2015年4月1日から2016年3月31日まで

収入

(単位：円)

大科目	中科目	決算額	予算額	予算額増減	摘要
会費収入		25,912,800	23,950,600	1,962,200	
	入会金	4,309,800	2,839,200	1,470,600	300円×14,366人=4,309,800円
	年会費	21,603,000	21,111,400	491,600	200円×107,149人=21,429,800円 100円×1,732人=173,200円
雑収入	雑収入	394	1,000	△606	利息
前期繰越金		8,691,647	8,691,647	0	
	合計	34,604,841	32,643,247	1,961,594	

支出

大科目	中科目	決算額	予算額	予算額増減	摘要
事業費		2,416,173	2,847,000	△430,827	
	入会金返金	6,000	9,000	△3,000	脱退・二重払込等による入会金の返金
	年会費返金	12,400	16,000	△3,600	脱退・二重払込等による年会費の返金
	組織強化費	185,000	280,000	△95,000	小規模サポート協会への支援金
	啓発宣伝費	796,792	872,000	△75,208	広告掲載、HP維持・更新・ 7-ルフト賞状作成費等
	助成金	600,000	600,000	0	ブロック活動費補助金(6ブロック)
	就労支援	1,200	70,000	△68,800	就労支援説明出張費等
	十周年記念事業費	313,943	500,000	△186,057	十周年記念事業実行委員旅費等 (積立金利用)
	支払手数料	500,838	500,000	838	振込手数料・ネットバンク利用料
管理費		18,693,186	20,045,000	△1,351,814	
	人件費	4,391,000	4,391,000	0	職員2名分
	法定福利費	425,030	428,000	△2,970	社会保険料等
	福利厚生費	29,690	50,000	△20,310	購読料、健康診断等
	総会費	2,496,583	3,480,000	△983,417	総会(交通費、会場費)等
	会議費	1,701,441	1,800,000	△98,559	理事会、三役会、委員会 (会場、交通費)等
	旅費交通費	1,476,960	1,340,000	136,960	ブロック会議、通勤手当職員2人分等
	賃借料	2,089,800	2,090,000	△200	家賃・更新料
	水道光熱費	86,509	105,000	△18,491	水道、電気料
	通信運搬費	277,382	270,000	7,382	電話、切手、宅配便等
	環境管理費	146,090	147,000	△910	事務所管理費(セコム)、事務所財産保険
	リース料	244,144	245,000	△856	事務機器
	印刷製本費	746,020	800,000	△53,980	会報作成費用等
	消耗品費	356,260	280,000	76,260	複合機使用料、事務用品費
	会員管理費	760,660	808,000	△47,340	会員管理費、AIUへの送料
	顧問・指導料	1,080,000	1,080,000	0	顧問3名分
	租税公課	80,600	111,000	△30,400	税金、法務局変更登記申請手数料
	渉外費	52,960	50,000	2,960	慶弔・贈答品等
	引当金	60,000	60,000	0	退職引当金
	積立金	2,186,057	2,500,000	△313,943	定期預金(記念事業費除)
	雑費	6,000	10,000	△4,000	法人会会費等
予備費	予備費		9,751,247	△9,751,247	
繰越金	次期繰越金	13,495,482	0	13,495,482	
	合計	34,604,841	32,643,247	1,961,594	

一般社団法人 全国知的障害児者生活サポート協会

2015年度収支計算書 一懇親会の部一

2015年4月1日から2016年3月31日まで

(単位：円)

大科目	中科目	決算額	予算額	増減	摘要
収入	サポート協会	270,000			5,000円×48名分(内2016年度分3名)
	A I U	20,000			5,000円×4名分
	J I C	120,000			5,000円×24名分
	全国サポート協会	30,000			5,000円×6名分
	計	440,000			
	利息	18			受取利息
	前期繰越	83,312			2014年度繰越
	合計	523,330			
支出	食事及び飲料等代金 (小島エンタープライズ支払)	394,932			
	支払手数料	3,544			残高証明書102 振込手数料3,442
	合計	398,476			
次期繰越金		124,854			ゆうちょ銀行 : 15,790円 三菱東京UFJ銀行 : 109,064円

一般社団法人 全国知的障害児者生活サポート協会

2015年度収支計算書 一保険料の部一

2015年4月1日から2016年3月31日まで

(単位：円)

大科目	中科目	決算額	予算額	増減	摘要
収入	預り保険料入	1,587,041,320			下記のとおり
	保険料	1,580,079,540	1,539,126,790	40,952,750	
	返戻金	6,961,780			
支出	預り保険料出	1,587,041,320			
	保険料	1,580,079,540	1,539,126,790	40,952,750	
	返戻金	6,961,780			

※保険料の部 摘要詳細

保険料	<p>合計金額内訳 保険料(加入者)合計1,580,079,540円(108,891人分) 1,578,948,030円(108,820人分)「2015年4月から2016年1月入金までの2015年度保険料」 +1,131,510円(71人分)「2016年3月入金(2016年度保険料)」</p> <p>参考：「2015年度保険料合計」(108,881人分) 1,578,948,030円(108,820人分)「2015年4月から2016年1月入金までの2015年度保険料」 +903,410円(61人分)「2015年3月入金(2015年度保険料4月加入分の一部)」 =1,579,851,440円</p>
返戻金	内訳 6,961,780円(サポート協会振込)

貸借対照表

2016年 3月31日現在

一般会計

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	13,586,311	8,945,754	4,640,557
流動資産合計	13,586,311	8,945,754	4,640,557
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	6,087,166	3,900,280	2,186,886
基本財産合計	6,087,166	3,900,280	2,186,886
(2) 特定資産			
退職金積み立て	330,000	270,000	60,000
特定資産合計	330,000	270,000	60,000
(3) その他固定資産			
什器備品	76,992	153,983	△ 76,991
保証金	675,000	675,000	0
その他固定資産合計	751,992	828,983	△ 76,991
固定資産合計	7,169,158	4,999,263	2,169,895
資産合計	20,755,469	13,945,017	6,810,452
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	0	185,520	△ 185,520
前受入金	10,200	15,600	△ 5,400
前受年会費	14,200	12,200	2,000
預り金	66,429	41,067	25,362
流動負債合計	90,829	254,387	△ 163,558
2. 固定負債			
退職給付引当金	330,000	270,000	60,000
固定負債合計	330,000	270,000	60,000
負債合計	420,829	524,387	△ 103,558
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
2. 一般正味財産			
(うち基本財産への充当額)	6,087,166	3,900,280	2,186,886
(うち特定資産への充当額)	330,000	270,000	60,000
正味財産合計	20,334,640	13,420,630	6,914,010
負債及び正味財産合計	20,755,469	13,945,017	6,810,452

正味財産増減計算書

2015年 4月 1日から2016年 3月31日まで

一般会計

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
入 会 金 収 入	4,309,800	2,061,000	2,248,800
入 会 金 費 収 入	21,603,000	19,231,800	2,371,200
雑 取 利 息	1,503	1,416	87
受 取 利 息	1,503	1,416	87
経常収益計	25,914,303	21,294,216	4,620,087
(2) 経常費用			
入 業 費	2,416,173	2,339,235	76,938
入 会 金 費 返 還 化 伝	6,000	5,700	300
入 組 織 発 行 費	12,400	11,600	800
助 成 費	185,000	274,400	△ 89,400
就 業 支 給 費	796,792	761,628	35,164
研 究 費	600,000	600,000	0
支 給 費	1,200	7,730	△ 6,530
十 支 費	0	72,530	△ 72,530
管 理 費	313,943	0	313,943
給 付 費	500,838	605,647	△ 104,809
法 定 福 厚 会 議 交 貸 光 運 管 理 費	16,507,129	15,155,089	1,352,040
福 厚 会 議 交 貸 光 運 管 理 費	4,391,000	4,370,000	21,000
生 産 費	425,030	421,845	3,185
通 信 費	29,690	35,176	△ 5,486
通 信 費	2,496,583	1,418,254	1,078,329
通 信 費	1,701,441	1,777,548	△ 76,107
通 信 費	1,476,960	1,238,326	238,634
通 信 費	2,089,800	1,944,000	145,800
通 信 費	86,509	95,875	△ 9,366
通 信 費	277,382	242,503	34,879
通 信 費	146,090	146,917	△ 827
通 信 費	244,144	650,160	△ 406,016
通 信 費	746,020	567,000	179,020
通 信 費	356,260	574,042	△ 217,782
通 信 費	760,660	753,165	7,495
通 信 費	1,080,000	720,000	360,000
通 信 費	80,600	80,600	0
通 信 費	52,960	53,678	△ 718
通 信 費	60,000	60,000	0
通 信 費	6,000	6,000	0
通 信 費	76,991	153,982	△ 76,991
通 信 費	19,000,293	17,648,306	1,351,987
通 信 費	6,914,010	3,645,910	3,268,100
通 信 費	0	0	0
通 信 費	6,914,010	3,645,910	3,268,100
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	6,914,010	3,645,910	3,268,100
一般正味財産期首残高	13,420,630	9,774,720	3,645,910
一般正味財産期末残高	20,334,640	13,420,630	6,914,010
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	20,334,640	13,420,630	6,914,010

一般社団法人 全国知的障害児者生活サポート協会
2016年度事業計画

【基本方針】

1 理念

Mission (ミッション・使命) =知的障害児者生活サポート

Vision (ヴィジョン・将来像) =全国(組織)

Passion (パッション・熱情) =協会(熱い情の協働体)

2 組織では、全国サポート協会とサポート協会間の一層の連携

3 事業では、当会定款第2条(目的・事業)を実施・継続

4 AIU損害保険株式会社並びにジェイアイシーグループと協議を継続

【活動内容】

1 組織の運営

当会の組織、事業及び財政など会務の適正な運営を図るため、定時社員総会・理事会また必要に応じて三役会等を開催する。

(1) 定時社員総会 1回

(2) 理事会 2回

2 事業の実施

(1) 相談支援事業の実施

ブロック活動の促進に協力

全国の6ブロックでは、ブロック毎に会議を開催し、報告・協議等を行う。

ア ブロック活動の推進に協力し、必要な情報を提供する。

イ ブロック活動に対し、補助金を助成する。

ウ 事務局職員の研修等を必要に応じ、具体的目的があればブロック毎に開催し、必要な情報を提供する。

エ 全国サポート協会ホームページの「サポート協会及びブロック会議の活動」にて、サポート協会の運営及び事業の参考になるような内容やブロック会議の情報を随時報告する。

(2) 啓発事業の実施

ア 会報誌「サポ協だより シンビオシス～共生～」の発行、配布：年1回

イ ホームページ

サポート協会の活動及びブロック会議で得た情報、厚生労働省や他団体などの福祉情報等を事務局が早急に発信する。

ウ 広告掲載

(ア) 集会

① 日本知的障害者福祉協会「施設長等会議」「全国職員研究大会」

② 全国手をつなぐ育成会連合会「全国大会」

(イ) 冊子

① 日本知的障害者福祉協会「さぼーと」

② 全国手をつなぐ育成会連合会「手をつなぐ」

(ウ) 週刊福祉新聞「暑中見舞名刺広告」「年賀名刺広告」

(3) 組織強化の実施

ア 加入者の拡大

(ア) 新規加入者拡大のためにブロック会議やホームページを通じて情報の交換・共有し、サポート協会の事業内容をより魅力あるものにしていくことに加え、2016年度「生活サポート総合補償制度」の改定でより手厚い補償の選択肢が増えたことを未加入者に伝え、企業就労者やNPO法人、一般法人施設利用者の加入促進を進める。

(イ) 加入者の目標は、今年度115,000人とする。

イ サポート協会（社員）加入の促進

未加入の県へのサポート協会（社員）設立の働きかけを近隣のサポート協会及び担当のジェイアイシーグループと連携して行う。

(4) 「会員管理システム」活用の推進及びジェイアイシーグループとの連携により適正な加入者の情報管理に努める。

3 2018年度「生活サポート総合補償制度」改定

企業就労者等、新たな加入者を対象にした改定を2018年4月に行うためには、2016年度中に改定内容を報告、理事会の承認が必要である。

2015年度ブロック会議での協議を基に2015年度理事会（3月）で要望をまとめ、2016年度理事会及び総会でA I Uの改定案を確認し、計画的に改定準備を行う。

4 一般社団法人 全国知的障害児者生活サポート協会に関わる連携の強化

障害者とその家族の安定のため、A I U損害保険株式会社及びジェイアイシーグループ等と、必要に応じて三者協議を随時実施する。

5 十周年記念行事

記念行事内容は2015年度に発足した「十周年記念事業実行委員会」にて協議し定まった内容に基づいて実施する。

2016年度定時社員総会時に記念式典及び研修会を行い、記念誌を配布する。

6 小規模サポート協会への支援

小規模サポート協会(加入者数500人以下)へ基盤強化・拡大を図るため、引き続き支援する。

・支援内容 年間 加入者1人200円

- ・加入者数の基準日 毎年8月31日(現在)
尚、最高限度額を100,000円、最低保障額を50,000円
(500人を超えた年度で支援終了)

7 「2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けた障害者の文化芸術活動を推進するネットワーク」への参加

2015年度当会は「2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けた障害者の文化芸術活動を推進するネットワーク」の構成団体となった。障害者文化芸術活動を推進するための啓発活動、事業を推進していく。当会は、2015年度に「生活サポート総合補償制度」パンフレットに掲載するアールブリュット作品を募集した。

2016年度は、前年度の実施後の評価・反省に基づき、第一として当会ホームページに掲載する作品展、第二として入賞作品を2017年度分のパンフレットに掲載する。

8 今後の課題解決に向けて「MVP委員会」の実施

試行事業を含めた今後の当会の事業支援や、入会金廃止・職員の就業規則について等の課題を「MVP委員会」にて協議する。

《試行事業》

就労支援事業

A I U損害保険株式会社、ランスタッド株式会社及びアイエスエフグループと協働し、埼玉県及び隣接する都県を中心に「個別就労相談」等を行う。

【具体的活動計画】

年	月	日	曜	会議名	ブロック会議 全国サポート協会 出席者
2016	4	7	木	監査・第1回三役会	/
		28	木	第1回理事会	
	5	24	火	2016年度定時社員総会	
				十周年記念式典	
	7	28	木	MVP委員会	
		29	金	第2回三役会	
	9	14	水	北海道ブロック会議(北海道)	正副理事長 補償制度アドバイザー 事務局長
	10	13	木	東海・北陸ブロック会議(愛知県)	
		20	木	九州ブロック会議(沖縄県)	
		27	木	近畿・中国・四国ブロック会議(徳島県)	
11	10	木	関東甲信越ブロック会議(新潟県)		
	17	木	東北ブロック会議(福島県)		
2017	2		第3回三役会	/	
	3		第2回理事会		

一般社団法人 全国知的障害児者生活サポート協会

2016年度収支予算書 ー運営の部ー

2016年4月1日から2017年3月31日まで

収入

(単位：円)

大科目	中科目	2015年度予算額	2016年度予算額	増減	摘要
会費収入		23,950,600	24,652,700	702,100	
	入会金	2,839,200	1,835,700	△ 1,003,500	300円×6,119人=1,835,700円
	年会費	21,111,400	22,817,000	1,705,600	200円×113,170人=22,634,000 100円× 1,830人= 183,000 計22,817,000円
雑収入	雑収入	1,000	1,000	0	利息
繰越金	前期繰越金	8,691,647	13,495,482	4,803,835	
	合計	32,643,247	38,149,182	5,505,935	

支出

大科目	中科目	2015年度予算額	2016年度予算額	増減	摘要
事業費		2,847,000	4,197,000	1,350,000	
	入会金返金	9,000	9,000	0	脱退・二重払込等による入会金の返金
	年会費返金	16,000	16,000	0	脱退・二重払込等による年会費の返金
	組織強化費	280,000	100,000	△ 180,000	小規模サポート協会への支援金
	啓発宣伝費	872,000	932,000	60,000	広告掲載、HP維持・更新、2020年東京パラリンピックネットワーク費等
	研修費	0	60,000	60,000	研修会講師旅費
	助成金	600,000	600,000	0	ブロック活動費補助金(6ブロック)
	MVP委員会	0	500,000	500,000	MVP委員会旅費等
	就労支援	70,000	70,000	0	就労支援説明出張費等
	十周年記念事業費	500,000	1,310,000	810,000	十周年記念事業記念誌・実行委員旅費等、功労者賞状作成費 → 積立金(固定資産)から
	支払手数料	500,000	600,000	100,000	振込手数料等
管理費		20,045,000	20,438,000	393,000	
	人件費	4,391,000	4,732,000	341,000	職員2名分(5月まで3名分)
	法定福利費	428,000	439,000	11,000	社会保険料等
	福利厚生費	50,000	50,000	0	購読料、健康診断等
	総会費	3,480,000	3,050,000	△ 430,000	総会(交通費、会場費)等
	会議費	1,800,000	1,800,000	0	理事会、三役会、委員会(会場、交通費)等
	旅費交通費	1,340,000	1,530,000	190,000	ブロック会議、通勤手当職員2名分等
	賃借料	2,090,000	1,944,000	△ 146,000	家賃
	水道光熱費	105,000	105,000	0	水道、電気料
	通信運搬費	270,000	270,000	0	電話、切手、宅配便等
	環境管理費	147,000	147,000	0	事務所管理費(セコム)、事務所財産保険
	リース料	245,000	245,000	0	事務機器
	印刷製本費	800,000	850,000	50,000	会報作成費用等
	消耗品費	280,000	468,000	188,000	複合機使用料、事務用品費
	会員管理費	808,000	497,000	△ 311,000	会員管理費、AIUF-9送料
	顧問・指導料	1,080,000	1,080,000	0	顧問3名分
	租税公課	111,000	111,000	0	税金、法務局変更登記申請手数料
	渉外費	50,000	50,000	0	慶弔・贈答品等
	引当金	60,000	60,000	0	退職引当金
	積立金	2,500,000	3,000,000	500,000	定期預金→固定資産へ
	雑費	10,000	10,000	0	法人会会費等
予備費		9,751,247	13,514,182	3,762,935	
	予備費	9,751,247	13,214,182	3,462,935	
	功労金	0	300,000	300,000	三浦事務局長功労金
	合計	32,643,247	38,149,182	2,043,000	

一般社団法人 全国知的障害児者生活サポート協会

2016年度収支予算書 ー保険料の部ー

2016年4月1日から2017年3月31日まで

(単位：円)

	大 科 目	2015年度予算額	2016年度予算額	増 減	摘 要
					2016年度加入者目標 115,000 人 加入者数は前年度月別比で算定し、保険料に乗算
					プランA
					4月 14,810 円 × 76,977 人 = 1,140,029,370
					5月 13,140 円 × 458 人 = 6,018,120
					6月 11,960 円 × 668 人 = 7,989,280
					7月 10,750 円 × 523 人 = 5,622,250
					8月 9,550 円 × 295 人 = 2,817,250
					9月 8,370 円 × 299 人 = 2,502,630
					10月 7,190 円 × 298 人 = 2,142,620
					11月 5,980 円 × 283 人 = 1,692,340
					12月 4,780 円 × 316 人 = 1,510,480
					1月 3,600 円 × 233 人 = 838,800
					2月 2,400 円 × 150 人 = 360,000
					合計 80,500 人 1,171,523,140
収 入	保 険 料	1,409,307,270	1,839,036,200	429,728,930	
					プランB (全体の3割見込で計算)
					4月 19,810 円 × 32,990 人 = 653,531,900
					5月 15,320 円 × 196 人 = 3,002,720
					6月 13,930 円 × 286 人 = 3,586,440
					7月 12,540 円 × 224 人 = 2,495,360
					8月 11,140 円 × 126 人 = 1,227,240
					9月 9,740 円 × 128 人 = 1,071,360
					10月 8,370 円 × 128 人 = 893,440
					11月 6,980 円 × 121 人 = 672,760
					12月 5,560 円 × 136 人 = 569,840
					1月 4,190 円 × 100 人 = 280,000
					2月 2,800 円 × 65 人 = 182,000
					合計 34,500 667,513,060
支 出	保 険 料	1,409,307,270	1,839,036,200	429,728,930	同 上